



一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)
Japan Textile Professional Engineers Center

一般社団法人 日本繊維技術士センターとは
日本繊維技術士センター（JTCC）は国家資格である技術士（主に繊維部門）260名が、その専門能力を相互に継続研鑽し繊維産業の発展に寄与することを目的に活動している団体です。1962年の創設以来、繊維および繊維に関連する分野の技術士、および、この目的に賛同する賛助企業や協力者、支援者が共同し、資質向上、繊維系人材の教育、育成、技術コンサルティングなどの活動を行っています。

JTCC ホームページ： <https://jtcc.or.jp/>



JTCC 本部事務所 シツカビル502

JTCC の基本方針

JTCC は以下の方針で諸活動を行っています。

1. 法令を遵守し、社会環境の変化・要請に応えます。
2. 業務上知り得た情報・技術等に対し、守秘義務を遵守します。
3. 高い専門技術を持つプロフェッショナル集団として常に自己研鑽に努めます。

一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）

理事長 西中 久雄



「技術士（Professional Engineer）」は、1957（昭和 32）年に制定された技術士法に定められた試験に合格し、文部科学省に登録した者に対する国家資格です。専門を明確にするため繊維では技術士（繊維部門）と表記します。所管である文部科学省の外郭団体に公益社団法人日本技術士会があり、繊維部門を含めた技術士の全 21 部門を統括・組織化していますが、これとは別に一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）は繊維分野に関係する技術士を中心とした独自の団体として活動しています。

参照：（公益社団法人）日本技術士会 HP：<https://www.engineer.or.jp>

JTCC の活動内容

（1）教育活動

日本の繊維産業において若手技術者に対する指導者が少なくなっている現状に対し、JTCC の技術士（主に繊維部門）が繊維関連技術の基礎から応用までの教育を受託・支援いたします。

- ・技術士（1 次、2 次）および繊維製品品質管理士（TES）の資格取得に向けた受験講座
- ・繊維基礎講座 「繊維基礎」「新入社員教育」など
- ・繊維技術講座 「繊維産業資材」、「アパレル」、「繊維寺子屋」「先端繊維技術セミナー」など
- ・企業、産地団体、大学などへの各種出張講座など
- ・繊維関連学会誌・業界紙に繊維関連講座の連載および書籍出版の支援など



講義風景



JTCC が関連した執筆・編集した書籍の例

（2）技術支援活動

国内外の繊維関連企業及び行政機関の依頼を受け、経験豊かな専門家が現地に赴き技術支援活動を行っています。焦点を特定の問題解決に絞った課題解決対応（個別案件型）技術支援と、焦点を絞らない、よろず相談機能対応（包括支援型）技術支援を展開中です。

＜主な展開事例(分野)＞

- ・重合、紡糸、製布、染色加工、縫製、環境等の技術支援
- ・新商品開発、技術開発、工場設計等の支援
- ・生産管理、品質管理、省エネ対策、コスト低減、安全管理、SDGs などの課題解決指導
- ・生産技術系図書の編集受託及びそれをテキストとした技術者教育講座
- ・繊維技術課題のワンストップ機能としての包括的支援窓口



↑ 省エネ診断風景



2023 年に編集・出版した専門技術図書(実践の染色読本)

貴社の課題解決に相応しい専門家につなげて頂きます。jtcc-tssi@jtcc.or.jp までご連絡ください。

(3) 技術情報活動

アパレルから産業用途まで技術の進歩は日進月歩です。会員は最新の繊維技術の知識や動向を幅広く収集でき、技術士としての自己研鑽ができます。

- ・技術士には継続研鑽(CPD)が求められるため、会員に対しその機会を提供しています。
- ・先端技術や技術者倫理に関する情報を収集するための、講演会・見学会などを開いています。

(4) 会員交流活動

JTCC の活動を広く知っていただくための会員交流活動と広報活動を行っています。

- ・隔月に会誌「JTCC インフォメーション」を発行し、会員や賛助会員に配信しています。
- ・ホームページ (<https://jtcc.or.jp>) を公開し、JTCC の諸活動をお知らせしています。
- ・企業内技術士交流部会を運営し、企業や団体に勤務する現役の会員を主とした交流の場を提供しています。2カ月に1度開催される交流会では、技術士の守秘義務を前提として話題提供されたテーマを基に議論や懇談を行い、企業の枠を越えた人脈づくりに役立てています。また、登録いただいたメンバーには、専用のメーリングリスト(JTCC-ACT)を用いて、さまざまな情報の共有、意見交換、技術的 Q&A に活用いただいております。
- ・会員ならびに賛助会員へ、毎月「JTCC ニュース」を配信し、技術情報、講習会、行事などの情報提供に努めています。

(5) 女性技術士の活躍

女性の能力活用について国をあげて積極的な動きがあり、とりわけ繊維の仕事では女性の感性、発言は大切で、女性技術士の活躍が期待されます。

JTCC の女性技術士(2025 年 3 月時点 16 名)は幅広い人脈を形成してその能力を最大限に発揮して活躍しています。



(6) フェスタ・会員交流活動

技術士は文化的な価値も尊重し人としての喜びを大切にしています。JTCC では毎年秋にフェスタを開催し、伝統工芸などの講演を聴いたり、会員からの写真・絵画・書・彫刻などを展示したりして、会員の感性溢れる才能を紹介しています。

技術士（繊維部門）をめざす Q&A

Q 技術士になるとどんなメリットがありますか。

A ・国家資格「技術士」として専門的指導業務ができます。

- ・高度な知識・経験を持った人たちへの人脈が広がり自分の技術のポテンシャルを上げることができます。
- ・専門性の高い国家資格なので社会的なステータスが高まります。
- ・退職後も技術士資格コンサルタントとして、専門の業務を行える機会が増えます。
- ・公的な産業振興事業や助成事業の審査、講演などの委託を受けることがあります。
- ・海外においても高い技術知識をもつ者として位置づけられます。

Q どういう人が技術士に向いていますか。

A ・繊維の一般知識は広く知っておりその中でも一つの専門分野、例えば製糸、紡績、織編、染色仕上、縫製、アパレル、品質評価、繊維機械などについて知識・経験を持っている人です。

- ・課題に取り組む姿勢が誠実であり、倫理観を持っている人です。
- ・業務上得た知識、ノウハウなどの守秘義務を確実に守れる人です。
- ・技術だけでなく業界、社会の動向、関連法規など広い視点を持てる人です。
- ・繊維系資格などを取得し、さらに繊維分野で自分の専門の識見を生かしたい人です。

Q 技術士は何人くらいいますか。 海外に通用しますか。

A ・全部門の登録者は 2025 年 3 月時点で 124,934 人、繊維部門は 835 人です。

- ・APEC Engineer として、日本、オーストラリア、カナダ、中国香港、韓国、マレーシア、ニュージーランド、インドネシア、フィリピン、米国、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、ロシア、ペルー間で相互資格認証が可能となっています。

一般社団法人日本繊維技術士センター（JTCC）や、技術士資格取得に関心をもたれた方は、下記までお問い合わせください。

・本部事務所

〒550-0004 大阪市西区靱本町2-7-4 シヅカビル 502

TEL：06-6484-6506 FAX：06-6484-6575

E-mail：jtcc@nifty.com

・関東支部 事務所

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-9 滋賀ビル 506

TEL：03-5643-5112 FAX：03-5614-0103

E-mail：jtcc-kt@nifty.com

・東海支部 事務所

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7F（財）中部科学技術センター内

TEL：052-231-3043 FAX：052-204-1469

